

令和元年度

業務名 駒岡破碎工場回転式機械設備定期整備業務

仕 様 書

## I 委託業務の概要

### 1 業務名

駒岡破碎工場回転式機械設備定期整備業務

### 2 業務内容

本業務は、回転破碎設備の安定した稼働を確保することを目的とし、各機器及び各設備の円滑かつ継続的な運転を図るため点検整備・清掃等を行うものである。

### 3 履行期限

契約締結日から令和2年3月27日まで

### 4 業務場所

札幌市南区真駒内602番地  
札幌市駒岡清掃工場併設粗大ごみ破碎工場

### 5 設備概要

破碎機型式： (株)クボタ製 回転式 KE-600S型  
50t/5h×1基

### 6 業務範囲

本仕様書及び整備内容書、図面のとおり。  
なお、図面の複写は禁止する。

### 7 再委託について

契約書に規定する「主たる部分」とは、次に掲げるものをいい、受託者は、これを再委託することはできない。

- ・総合的な業務履行計画及び進捗管理
- ・整備手法の決定及び技術的判断

なお、前述の「主たる部分」以外については、専門業者等への再委託を可能とするが、再委託する業務範囲および選考する業者について、事前に施設管理担当者の承諾を得ること。

また、業務全体の品質・安全確保ため、委託者との協議、他工事との調整、履行計画、工程管理、品質管理、安全管理、再委託業者の調整・指導監督等全ての面において、主体的な役割を果たすこととし、作業中は常に業務責任者が指揮・監督等の業務を行うこと。

### 8 用語の定義

本仕様書で用いる用語は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、平成30年版建築保全業務共通仕様書による。

## II 一般事項

### 1 提出図書等

#### (1) 業務着手時に提出するもの

- ア 業務着手届 2部  
契約後、業務に着手した時は直ちに届け出ること。  
着手届の余白部分に労働基準監督署からの「労働保険関係成立の証」受領印があること。  
なお、上記保険成立印取得に時間を要する場合は、「労働者災害補償保険関係成立証明書」を後日提出することも認めるが、その間現場での実作業は行えない。
- イ 業務責任者指定通知書 2部
- ウ 業務責任者経歴書 2部  
(受託者との雇用関係を証明する書類等を含む)
- エ 業務日程表 2部

#### (2) 現場作業前に提出するもの

- 事前に施設管理担当者に提出の上、承諾を得ることとし、内容に不足、疑義等があった場合には、承諾を得るまで作業はできないものとする。
- ア 安全管理 1部  
(ア) 安全管理体制・安全活動計画
- イ 施工管理 1部  
(イ) 履行(施工)計画書  
a 連絡体制・履行体制表  
b 資格者名簿  
c 仮設・搬入計画
- (イ) 整備要領  
各整備毎に整備手法、手順など詳細な作業手順書を記載
- ウ 品質管理 1部  
品質管理体制・社内検査体制表

#### (3) 現場作業中に提出するもの

- ア 作業日報 1部
- イ 週間予定表 1部

#### (4) 業務完了時に提出するもの

- ア 整備報告書 2部  
各整備ごとに整理し、一括提出すること。  
整備及び検査等に使用する測定機器等については、検査成績書及び校正履歴等の管理記録を併せて提出すること。
- イ 業務記録写真 2部  
業務記録写真は、各整備の整備前、整備中、整備後を撮影して2部提出すること。  
なお、そのうち1部は両面カラーコピーとする。  
また、写真の整理は以下のとおりとする。
- ・写真は、解像度が130万画素(1,280×960)程度のカメラで撮影すること。
  - ・写真の大きさは、原則としてDSC(89×119)とする。
  - ・写真はA4S版以内のファイルに整理する。
  - ・プリンターはフルカラーで300dpi以上。
  - ・用紙、インク等は通常の使用条件のもとで、3年間程度顕著な劣化の生じないもの。

- ウ 試験成績表（各種測定表を含む） 2部  
測定結果については、委託者が別途示す基準値及び許容値を併記し、良否判断が可能な構成とすること。
- エ 業務完了届 2部
- オ 完成図面等 2部
- カ 設備状況調査報告書(劣化状況を一覧とした書類) 2部

(5) 任意に提出を求めるもの

名称及び提出時期は次のとおり。

- ア 法定検査用図書（法定検査前） 2部
- イ 施設管理担当者との打合せ記録簿（打合せの都度） 1部

(6) 提出図書等の様式

提出する書類等の様式は、事前に施設管理担当者との協議のうえ、承諾を受けること。

2 検査に使用する測定器及び計装用計器（以下、「測定器等」という）

- (1) 検査に使用する測定器等は、校正又は点検調整済みの機器とし、事前に校正記録、検査成績書、点検表及び使用期限を明示した記録を提出し、施設管理担当者の承諾を受けること。
- (2) 測定器等は、その測定に必要とされる精度のものを使用すること。
- (3) 測定器等は十分な保守管理を行い、使用しない時は専用のケース及び場所に保管し損傷等による測定値の誤りのないようすること。
- (4) 測定器等を損傷させた場合及び誤測定は発生した場合は、代替品により再測定を行うこと。この場合も(1)同様事前承諾を受けること。

3 適用法令

- (1) 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「電気事業法」「労働安全衛生法」等の関係法令に基づいて業務を行うこと。
- (2) その他適用法令及び適用規格  
業務の履行にあたり、下記の関連法令及び規格を遵守すること。
  - ア 日本工業規格
  - イ 内線規程
  - ウ 消防法
  - エ 建築基準法
  - オ 建設業法
  - カ その他関連法令、規格

4 業務条件

業務の実施時間帯は、原則として下記のとおりとする。

休日（土・日曜日及び祝祭日）に業務を行う場合及び下記時間帯を超過する場合は、施設管理担当者との協議すること。

・業務時間：8時30分～17時00分

- (1) 施設内への入退場場所・方法・時間については、施設管理担当者との調整し、承諾を受けること。
- (2) 履行期間中においても、ごみの受入れ及び処理を行うことから、処理に支障がでないよう整備を行う。
- (3) 円滑な処理と整備を行うために、毎日、施設管理担当者並びに破砕工場運転業務受託業者と、整備内容等について打合せを行う。
- (4) 履行期間中における回転破砕機の稼働停止期間は2週間以内とし、時期については、事前に施設管理担当者との協議をし、承諾を受けること。

- (5) 予定時間内で整備ができない場合、施設管理担当者に連絡すること。
- (6) プレーカの分解整備は、指定整備工場にて実施すること。

## 5 業務責任者

- (1) 業務の実施に先立ち業務責任者を選任し、次の事項について書面をもって提出する。  
業務責任者に変更があった場合も同様とする。
  - ア 氏名
  - イ 年齢
  - ウ 経歴書
  - エ 受託者との雇用関係を証明する書類等
- (2) 業務責任者は常駐とし、業務担当者に作業内容及び施設管理担当者の指示事項等を伝えその周知徹底を図ること。  
なお、常駐とは、実際に整備作業(資材・機材の搬入、仮設作業等を含む)が行われている期間を示し、契約から現場施工に着手するまでの期間を除く。
- (3) 本業務期間中に別契約の業務委託又は工事と重複する場合、他の業務責任者又は現場代理人と工程調整を図ること。

## 6 業務担当者

業務担当者は、業務を遂行する上で法令上必要な資格について、有資格者を配置すること。  
なお、資格者は重複しても差し支えないものとする。

## 7 建物内外施設等の利用

- (1) 居室等の利用  
原則として利用できない。
- (2) 資材置場、仮設事務所  
資材置場・仮設事務所等に必要とする用地については、施設管理担当者と調整し、承諾を受けること。

## 8 駐車スペースの利用

業務履行に伴う車両の駐車に必要な用地は、施設管理担当者と調整し、承諾を受けること。

## 9 安全衛生管理

- (1) 業務責任者は業務担当者の労働安全衛生に関する安全教育に努め、関係法令に従い作業環境を良好な状態に保つことに留意し、特に換気、騒音防止、照明の確保等を心掛けること。
- (2) 酸素欠等作業場所  
施設内は、酸素欠乏等の危険な箇所もあることから事前に確認し、業務担当者に周知するとともに、関係法令を遵守し事故防止に努めること。

## 10 火気の取扱

火気を使用する場合は、あらかじめ施設管理担当者の承諾を得るものとし、その取扱いに際しては十分注意すること。

## 11 喫煙の禁止

喫煙は、工場敷地内(車両内を含む)において禁止する。

## 12 出入禁止箇所

業務に関係のない場所及び部屋への出入は禁止する。

### 1.3 服装等

- (1) 業務関係者は、特記事項による他、業務に適した服装、履物で業務を実施すること。
- (2) 業務関係者は、前号に定める場合、また特別な作業に従事する他は、名札又は腕章の着用を義務付ける。

### 1.4 施設管理担当者の立会い

作業に際して施設管理担当者の立会いを求める場合は、原則事前の申し出による。

### 1.5 業務の立会い、確認

施設管理担当者の指示に従い、次の立会い、確認を受けること。

#### (1) 業務開始前

当該設備の現状を確認し、履行体制等の準備の後、原則として施設管理担当者の確認を受けること。

#### (2) 業務実施中

##### ア 自主検査（社内検査）

受託者は、各機器の整備終了次第チェックシート等により検査し、報告すること。

なお、チェックシートの様式は、施設管理担当者の承諾を受けること。

##### イ 段階確認

各整備は、指定された期間内に実施するものとし、前述の自主検査を終了した後、施設管理担当者の立会、確認を受けること。

なお、施設管理担当者より改善指示書が出された場合は指定する期日までに改善するとともに、当該箇所の改善報告書を提出し、施設管理担当者の立会、確認を受けること。

### 1.6 復旧

他の設備及び既存物件の損傷・汚染防止に努め、万一損傷又は汚染が生じた場合は、速やかに施設管理担当者へ報告するとともに、受託者の責任において原状復旧すること。

### 1.7 その他

- (1) 作業は本仕様書に基づいて行い部品等については明記のない場合及び汎用品を除き、メーカー純正品とし規格・型番等は厳格に守ること。
- (2) 各作業について職種別に人工数を作業日誌等で報告すること。
- (3) 各機器整備後の試運転調整、合格条件は特記事項による。
- (4) 特許等に関わる事項は、受託者にて整理すること。

### Ⅲ 特記事項

#### 1 受託者の負担の範囲

受託者の負担の範囲は次による。

- (1) 業務の実施に必要な車両に係る経費
- (2) 業務の実施に必要な工具、校正証書付計測器等機材（機器付属品は除く）
- (3) 業務の実施に必要な消耗部品、材料、油脂等（支給品除く）
- (4) 業務の実施に必要な事務所、便所、エアーシャワー室等の仮設設備
- (5) 業務の実施に必要な外線電話等の使用に係る経費
- (6) 文具等の事務消耗品
- (7) 日誌及び報告書の用紙、記録ファイル

#### 2 仮設設備等

事前に仮設計画書を提出し、施設管理担当者の承諾を得ること。

#### 3 緊急処置

本仕様書に明記していない不測の事態が発生した場合は、速やかに施設管理担当者に報告の上、処置方法を協議し対処すること。

#### 4 支給材料

整備内容書に示すとおり。

#### 5 廃棄物の処理

- (1) 業務の実施に伴う発生材の処理方法は以下のとおりとする。

	発生材・廃棄物名	処理方法
ア	焼却可能なもの	指定場所へ搬出
イ	廃金属	〃
ウ	廃油	〃

- (2) 仮設事務所から出る廃棄物等の処理費用は、受託者の負担とする。

#### 6 完了確認

受託者は、各設備・機器の整備終了後、以下の(1)(2)の検査、並びに(3)の合格条件を満たしていることの確認を受けること。

- (1) 個別機器の整備報告書等に基づく検査
- (2) 試運転

委託者が行う次に示す試運転検査

- ア 整備対象機器の試運転検査
- イ 回転式破砕機の試運転検査
- ウ 回転式破砕機系統の全機器（集塵装置を含む）の試運転検査

- (3) 合格条件

- ア 前述の検査において不具合、不良箇所が発見されない場合。
- イ 前述の検査において不具合が発見された場合、直ちに原因の調査、報告を行い、その原因が受託者の責に帰するものである場合は、補修方法等について協議の上、受託者の責任により復旧し、再度、前号と同様の検査方法により不具合が発見されない場合。

#### 7 環境負荷の低減

- (1) 本業務の履行においては、委託者である札幌市の環境マネジメントシステムに準じ、環境負荷の低減に努めること。
- (2) 電気、水道、油等の使用にあたっては、極力節約に努めること。
- (3) 施設内清掃作業にあたっては、環境に配慮した資機材及び装備等を使用し、極力節約に努めること。

- (4) 自動車等を使用する場合は、できるだけ環境負荷の少ない車両を使用し、アイドリングストップの実施など環境に配慮した運転を心掛けること。
- (5) 本業務において使用する物品・材料等は極力環境に配慮したものを使用すること。
- (6) 業務に伴い排出される廃棄物は極力、減量、リサイクルすること。

#### 8 その他

- (1) 本仕様書に明記のない事項については施設管理担当者と協議して決定する。
- (2) 疑義の発生についても前号と同様とする。



令和元年度

業務名

駒岡破碎工場回転式機械設備定期整備業務

整備内容書

整備箇所	図番	整備内容及び特記事項	必要資材	数量	資材の範囲
1 回転破碎機本体					
(1) ブレーカライナ整備	3	1 ブレーカライナ交換	1 ブレーカライナ 2 ブレーカライナボルトL(UN,SW付) 3 ブレーカライナボルトS(UN,SW付)	2 個 2 組 2 組	支給品 // //
(2) グラインダ整備	3	1 グラインダ交換	1 グラインダ 2 グラインダピン	40 枚 10 本	支給品 //
(3) スーパーライナ整備	3	1 スーパーライナ交換	1 スーパーライナ 2 スーパーライナ用ボルト(UN,SW付)	2 個 4 組	支給品 //
(4) 下部シェルライナ整備	3	1 下部シェルライナ交換	1 下部シェルライナ 2 シェルライナボルト(UN,SW付)	12 枚 48 組	支給品 //
(5) ブレーカ分解・肉盛溶接整備 (6) ロータ分解・肉盛溶接整備	3,4,5,6	1 ブレーカ並びにロータを破碎機本体から取外し、工場に運搬 ( ブレーカ本体 1台、ロータ本体 1台 ) 2 分解後、バランス調整及び偏心量測定 3 表面硬化肉盛溶接補修 4 整備完了後、駒岡破碎工場へ搬入			
(7) 飛出しシュート	7	1 飛出しシュート交換	1 上部飛出しシュート 2 下部飛出しシュート	1 台 1 台	契約に含む 契約に含む
2 排出コンベヤ	8	1 点検歩廊改修 (1F～2F中間部)	1 点検歩廊製作	1 式	契約に含む